

Evaluation

■ 定期購読のご案内 / 4冊分購読料：6,800円（税込/送料当社負担）



- 所有者不明土地と土地収用法の不明裁決
(島根県立大学名誉教授)平松 弘光
- 損益分岐点チャートを使ったビル経営の分析
(明海大学不動産学部准教授)芦谷 典子
- 東京区部における不動産競売市場の特性と趨勢
(不動産鑑定士)曾我 一郎
- 管理者解任訴訟に伴う有益費措置請求
 —管理者解任の訴え提起は事務管理となり、各区分所有者に請求できるか—
(弁護士・千葉大学名誉教授)丸山 英氣
- 住宅金融専門会社の存在意義はあったのか
 —住宅ローンの草分け「日本住宅金融株式会社」25年の軌跡—
 《第5回》歴史的役割を終えた住宅金融専門会社
(元・日本住宅金融株式会社)安井 礼二

< 2019年2月15日発行 第68号 >

◆ Evaluationバックナンバー-注文・定期購読お申込書◆

FAX : 03-3341-6937 年 月 日

◆ 季刊『Evaluation』誌【 号】を申し込みます。(バックナンバー 一覧は裏面にございます。)

(↑ 恐れ入りますがバックナンバーご注文の場合、3冊まで160円、以降、4冊以上は360円の送料を申し受けます。また、定期購読と併せてご注文頂く場合、送料はかかりません。)

◆ 『Evaluation』誌の定期購読【第 号より】申し込みます。
 (年間購読料(開始号を含めて4冊/年)1年単位:6,800円(税込/送料当社負担)です。)

(フリガナ) (フリガナ)
 ご芳名 ④ 貴社(所)名 ※
 (フリガナ)
 部署名 ※

送付先ご住所(〒 -) ※

TEL ※ FAX ※ E-mail ※

■ 注文書籍発送時同梱の郵便振替用紙をご利用(手数料弊社負担)または、銀行振込(手数料お客様負担)のいずれかの方法にて請求書到着後10日以内にお支払いください。

◆ 全国の書店、官報販売所や、アマゾンなどのネット書店でもお求め頂けます ◆

ご記入頂いた個人情報、ご注文頂いた書籍の発送、お支払い確認等の連絡および当社の新刊・開催セミナーのご案内をお送りするために利用しその目的以外での利用は致しません。

■ 新刊情報・セミナー案内は (送付してもよい/送付しなくてよい) ←どちらかに○を付して下さい。

Evaluation

No.67

●路線価が設定されている路線は建築基準法上の道路に限定されない旨の判断が下された裁判事例について……………日税不動産鑑定士会

- 公共用地取得に係る農地の評価について——創設非農用地転換地の評価手法を参考に……………飯田 英範
- 大震災の復興事業と土地収用法——土地問題雑感……………平松 弘光
- 有料老人ホームの賃料と公租公課の関係……………田原 拓司
- 不動産鑑定からみた固定資産税評——近時の固定資産税評価と判例の動向を検証する……………今枝 意知朗
- ブロックチェーンと次世代不動産……………曾我 一郎

◆大都市の木造密集地域のこれからを考える
《第4回（最終回）》木造密集地域に求められる将来ビジョン
中川 智之/磯 友輝子/葛西 リサ/楠亀 典之/山口 幹幸

No.66

●特集●コンパクトシティを考える

- ▼人口縮小時代の都市政策：コンパクトシティ化…浅見 泰司
- ▼コンパクトシティ政策がめざす都市や地域とは…海道 清信
- ▼コンパクトシティ政策の動向と不動産ビジネスの転換…谷口 守
- ▼交通からコンパクトシティを考える…森本 章倫
- ▼日本の風土に根ざした新たな田園都市…横張 真
- ▼コンパクトシティと環境…松橋 啓介
- ▼都市のスポンジ化とコンパクトシティ…饗庭 伸
- ▼コンパクトシティ実現のための都市計画と誘導手法
——立地適正化計画の先の政策をどのように進めるのか…青木伊知郎
- ▼コンパクトシティと「時間」…玉川 英則
- ▼国の求めるコンパクトシティの限界——埼玉県本庄市の立地適正化計画を通して考える…山口 幹幸
- 鑑定評価に関する理論的考察——なぜ剰余が発生するか、剰余たる純収益とは何か……江間 博
- 無接道画地価格の接道宅地価格に対する価格割合…田原 拓司
- 「動産一体評価」で見えてきた論点…松浦 英泰
- 住宅金融専門会社の存在意義はあったのか——住宅ローンの草分け「日本住宅金融株式会社」25年の軌跡
《第4回》住宅金融専門会社の乱立が産んだ住宅金融市場の過当競争…安井 礼二
- 大都市の木造密集地域のこれからを考える
《第3回：木造密集地域における取組みの変遷》…中川 智之/山口 幹幸/楠亀 典之

No.65

- 固定資産評価基準における鑑定評価の位置づけについて—「当分の間」をめぐる考察 水野 雅夫
- 東京23区賃貸マンションの還元利回り 田原 拓治
- 「広大地評価」から「地積規模の大きな宅地の評価」へ—相続税財産評価基本通達の改正 鶴野 和夫

■大都市の木造密集地域のこれからを考える《第2回》木造密集地域の現状 山口 幹幸/楠亀 典之/中川 智之
■住宅金融専門会社の存在意義はあったのか—住宅ローンの草分け「日本住宅金融株式会社」25年の軌跡
《第3回》存在感を増した住宅金融専門会社 安井 礼二

■「マンション法の現場から《第14回》二つのマンション法 丸山 英気

★企業・業界分析レポート⑤ =アマゾンのビジネスモデル
～会計から見て、アマゾンは小売業、ネット業、金融業あるいは施設賃貸業か
岡崎 一浩

No.63

- 固定資産税に関する近時の最高裁判例…沼井英明
- リートバブルの終焉は近い…田原拓治
- 評価命令の法的性質に関する私論——評価人たる不動産鑑定士に求められる高度の善管注意義務…堀川 裕巳
- 住宅金融専門会社の存在意義はあったのか——住宅ローンの草分け「日本住宅金融株式会社」25年の軌跡《第1回》民間初の住宅金融専門会社の誕生…安井礼二
- 等価交換マンション事業の概要と今日的意義(上)…大木祐悟
- シロアリと不動産との関係(下)——良質な中古住宅が流通するにはシロアリ被害のチェックが欠かせない…内藤武美
- 不動産の投資格付けについて(下)——簡易な不動産投資インデックスの作成に向けて…西宮富夫

★企業・業界分析レポート③
=「ヨコの展開」の経営の視点～干ばつに立ち向かうオーストラリア農業経営の視点から～…岡崎一浩
《新・鑑定雑感》
コモディ化する鑑定業務と特化型AIに駆逐される公的評価…堀川 裕巳

バックナンバー特集名一覧(各号の目次は弊社HPからご覧頂けます)

- No.62 ■賃貸不動産の流通に関する法的課題
- No.59 ■『2020年問題』への対応——市街地の中の農地のゆくえ
- No.58 ■《土地再生シンポジウム》不動産取引と土壤汚染
- No.57 ■商業用不動産の戦略的経営——変動・固定賃料の最適比率
- No.56 ■税務申告における不動産鑑定評価書の有効な利用方法
- No.55 ■最近の相続税評価通達広大地裁決の問題点
- No.54 ■これからのまちづくりと不動産を考える
- No.53 ■不動産鑑定評価基準改正概要
- No.52 ■都市内の空き家問題を考える
- No.51 ■最高裁判決第二小法廷平成25年7月12日判決について
- No.50 ■都市内の空閑地問題を考える
- No.49 ■不動産鑑定士以外の者による価格査定的位置づけについて
- No.48 ■東京都のアジアヘッドクォーター特区への期待
- No.47 ■平成24年度の不動産税制の改正のポイント
- No.46 ■心理的瑕疵による減価率の査定について
- No.44 ■オリンパス株価鑑定書をめぐる諸問題
- No.43 ■更新料特約を有効とした最高裁判決をめぐって
- No.42 ■東日本大震災と不動産
- No.41 ■実務修習・指導要領テキストの検証—貸家及びその敷地の鑑定評価
- No.40 ■地代・家賃評価をめぐる諸課題
- No.39 ■公的評価の課題とその将来像
- No.38 ■賃貸等不動産の時価評価をめぐって
- No.36 ■建物《評価》の諸課題を考える[上]
- No.35 ■農地法等の改正と農地評価をめぐる課題
- No.34 ■いま問われている不動産鑑定[士]の専門性—「価格調査等ガイドライン」の施行にあたって
- No.33 ■不動産競売制度をめぐる今日的課題
- No.32 ■【特別企画】匿名座談会—金融危機の現状と今後の不動産証券化の方向を探る
- No.31 ■不動産鑑定はどこまで来たか、そして明日はあるか？ [下]
- No.30 ■不動産鑑定はどこまで来たか、そして明日はあるか？ [上]
- No.7,9,10,11,12,23,24 ■ 在庫有り

『1,2,3,4,5,6,8,13,14,15,16,17,18,19,20,21,22,25,26,27,28,29,30,35,36,40,45,49,52,56,59,60/61,64』は品切れです

◆全国の書店、官報販売所や、アマゾンなどのネット書店でもお求め頂けます。◆